

信州大学機関リポジトリ (SOAR-IR) 平成20年度コンテンツ拡充

Web Publishing

信州大学の研究活動成果の
発信力強化

- ◆ 研究紀要の発行を、紙媒体からSOAR-IR 上での発行中心に移行
- ◆ 紀要の「顔」は各学部 Web サイトに

紀要電子化と登録

過去の成果の発信と
継続収集に向けて

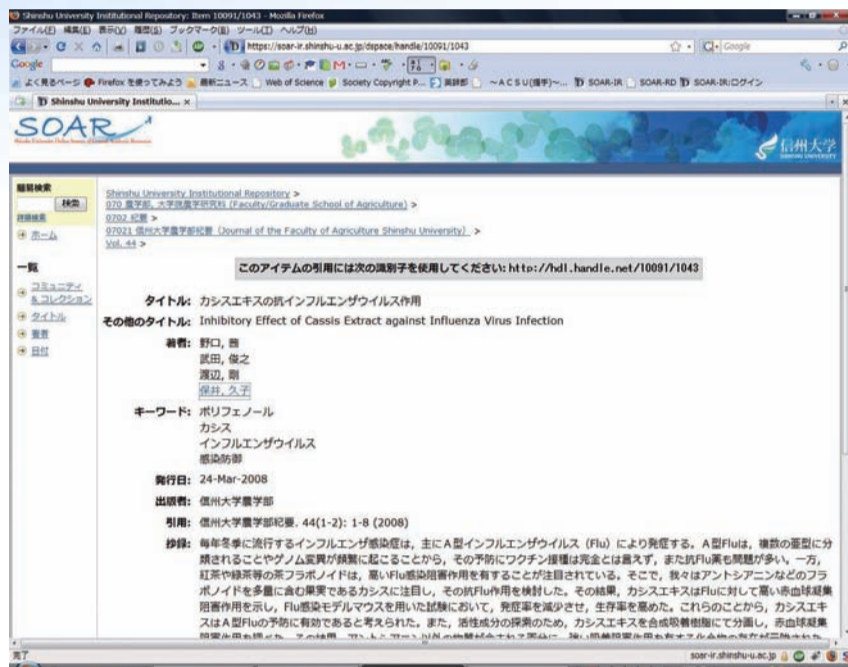
- ◆ 過去に発行された紀要・年報を電子化
 - ・ 図書館が電子化、メタデータ作成
 - ・ 発行部局が著作権処理を担当
 - ・ 著作権処理が完了次第、順次登録

日常の収集活動

最新の、
良質な成果を収集

- ◆ Web of Science 新規収録論文をチェックし、著者に登録を依頼
- ◆ SOAR-IR 登録と同時に、研究者総覧や Web of Science へのリンクを設定

機関リポジトリ (SOAR-IR)



視認度評価分析システム (CSI 委託事業 領域 2)

多様な評価指標を提供し、研究者が自らの強みや
アピールポイントを発見することを支援

- ◇ 研究成果の客観的指標を、研究者ごと、論文ごとに集計
- ◇ SOAR-IR への論文登録の付加価値を高める

研究者へ
フィードバック



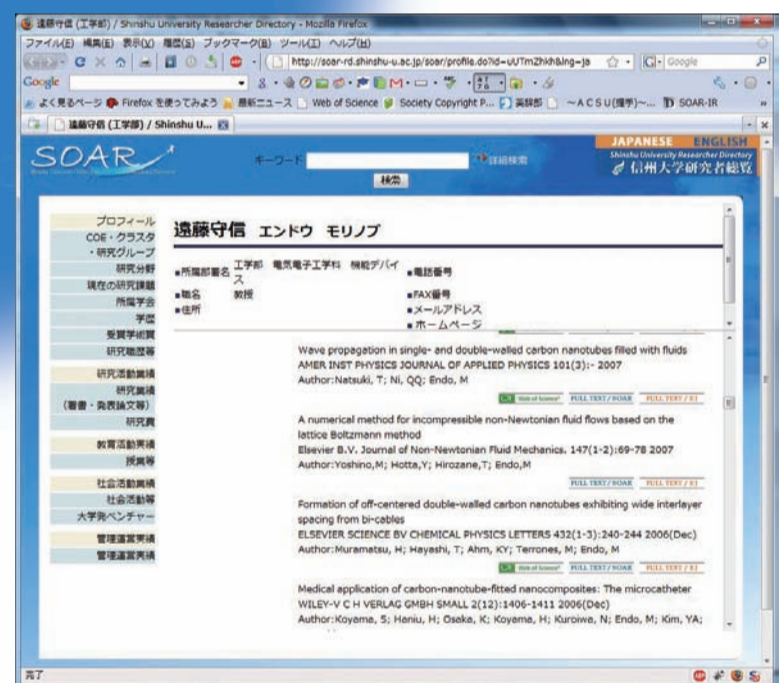
大学の成果を
アピール

「学術情報提供状況」の公開

SOAR 利用統計と Web of Science の統計情報から、
信州大学の研究の「強み」をアピール

- ◇ 評価・分析担当部署との共同企画として、右の統計を Web 上で公開

- ・ SOAR-IR 登録論文のダウンロードランキング
- ・ SOAR-IR のアクセス統計
- ・ 分野別論文数と被引用数



研究者総覧 (SOAR-RD)

SOAR-IR のアクセス統計分析

< アクセス統計の変化 >

- ・ 紀要論文の遡及登録により、ダウンロード数増加
2008.12月~2009.2月: 平均 11,600 ダウンロード
- 2009.3月~2009.5月: 平均 30,200 ダウンロード
- ・ 論文あたりのダウンロード数
平成 19 年度: 1 論文あたり 44.9 ダウンロード
- 平成 20 年度: 1 論文あたり 61.6 ダウンロード



< 多様なアクセス元 >

- ・ Google 等、検索エンジンから直接の訪問
- ・ CiNii 経由
- ・ SOAR-RD 経由
- ・ 紀要の目次ページから
- ・ Wikipedia や Q&A サイトから



< 紀要論文へのアクセス >

- ・ 「高頻度ダウンロード文献」の上位 20 件中、17 件が紀要論文
- ・ 最新のものだけでなく、過去の論文にもニーズが (1960 年代~1970 年代の紀要: 工学部・繊維学部)
- ・ 人文・社会系論文への注目 - 教育・心理・言語

CSI 委託事業領域 1
平成 21 年度の予定

- ◇ COE などの大型プロジェクトの成果物収集
- ・ 成果報告書と関連する成果

- ◇ 紀要論文の収録拡大
- ・ 著作権処理の推進
- ・ 対象紀要の拡大